



Inter Bee 2023 DaVinci Resolve Demonstration Theatre

11/15~17 @Hall 6 / 6407



- A 岡野太郎 (Blackmagic Design)
- B 清本 俊彦 (DENDEN)
- C 藤浪 崇史 / 萩谷 太郎 (Dolby Japan)
- D 三浦 徹 (SPICE)
- E 田中 裕治 (UZLAND FILM WORKS)
- F 小町 直
- G 石川洋一 / 横田早紀 (MAGICA エンタテインメントメディアサービス)
- H 田巻 源太 (株式会社インターセプター) 星子 駿光 (DI Factory)
- I 大嶺 建 (kyokuti creator school)
- J 山本 久之 (マウントキュー)
- K 鈴木 佑介 (Y's kitchen)
- L 井上 卓郎 (Happy Dayz Productions)
- M 小町 直
- N 林
- O 松尾 直樹
- P 伊納 達也
- Q Mai & Yukino (ARTONE FILM)
- R Karol Kaczorowski (ARTONE FILM)
- S Yoshiyuki Nishida (ARTONE FILM)
- T Toshiki Kamei (ARTONE FILM)
- U Masahiro Ishiyama (ARTONE FILM)

- DaVinci Resolve 18.6 最新アップデート
- Blackmagic Cloud を中心としたポストプロダクションの業務改革
- DaVinci Resolve による Dolby Vision・Dolby Atmos 制作最新情報
- Spice DIT Style & Original monochrome Creative LUT
- FUSION Case Study ~ 岩井俊二作品 音楽映画「キリエのうた」~
- これからはじめる FUSION (ノードベースと MultiMerge 編)
- The Creative Color Grading-Demonstration 金麦 CM 他 ~
- DaVinci Resolve によるスピーディーワークフローオフラインエディット & カラーグレーディングデモンストレーション-映画「Winny」-
- 明日から使いたくなる DaVinci Resolve のススメ
- みんなのための Rec709 カラーマネージメント再入門
- ビギナーでも怖くない! Switching to DaVinci Resolve のススメ
- 手のひらに映画館を: Blackmagic Cinema Camera 6K による創造性の解放
- これからはじめる FUSION (モーションテキスト編)
- Blackmagic Camera / Blackmagic Cinema Camera 6K とグレーディングシステム「Monet」の活用について
- URSA Mini Pro 12K 素材によるカラーページ入門編
- ドキュメンタリー作家にとってのフルフレームセンサー
- Blackmagic Cinema Camera 6K
- The Creative Color Grading ~Junior Colorist~
- The Creative Color Grading ~Color science~
- The Creative Color Grading ~Demonstration~
- The Creative Color Grading ~Demonstration~
- The Creative Color Grading-Demonstration ゴジラ-1.0-

TIME TABLE

● Wednesday 15th ● Thursday 16th ● Friday 17th

10:30-11:00	A	10:15-10:45	I	10:15-10:45	J
11:15-11:45	B	11:00-11:30	J	11:00-11:30	O
12:00-12:40	C	11:45-12:15	K	11:45-12:15	A
12:55-13:35	D	12:30-13:00	L	12:30-13:00	Q
13:50-14:20	E	13:15-13:45	M	13:15-13:45	R
14:35-15:05	F	14:00-14:30	N	14:00-14:45	S
15:20-16:00	G	14:45-15:15	O	15:00-15:45	T
16:15-17:15	H	15:30-16:00	E	16:00-16:45	U
		16:15-16:45	P		
		17:00-17:30	A		

● 15th ケーススタディデイ

● 16th DaVinci Resolve トレーニング & Tips デイ

● 17th ARTONE FILM スペシャルデイ

● 15th ケーススタディ

劇映画作品における DaVinci Resolve スピーディーワークフローや FUSION クリエイティブデモ、Blackmagic Cloud によるポストプロダクション業務改革事例、Dolby Vision・Dolby Atmos の最新情報、国内で活躍する DIT/ カラリストのデモンストレーションなど

● 16th DaVinci Resolve トレーニング &Tips デイ

認定トレーナーを中心に、入門セッションや明日から使える便利な Tips、L マウントフルフレーム Blackmagic Cinema Camera 6K に関するセッションなど
これからは始める人も既に使ってる人にとっても必須のラインナップ！

● 17th ARTONE FILM スペシャルデイ

日本初のグレーディング専門スタジオ ARTONE FILM スペシャルとなり、同スタジオ所属のジュニアカラリストからシニアカラリストによる実例を交えたデモンストレーションやカラーサイエンスに関するセッションを予定。他では見ることの出来ない InterBee 2023 特別プログラムをお見逃しなく！

Masahiro Ishiyama (ARTONE FILM)

デジタルガーデンに入社し Jaime O' Bradovich (Company 3) 師事、2014 年カラリストになる。Company 3 のカラリストに師事していたこともあり、フィルターがかったトーンではなく、人物と背景をセパレートさせたハリウッドトーンを得意とする。黄色人種である日本人の肌を美しく保ちなからのグレーディングしていく 技術は、外国人には真似できない日本人独自のテクニックだと自負している。作品にマッチするトーンの追求、脚本、コンテから小説を読み取り、作品の邪魔をしないトーンを心がける。

Mai Kawamura (ARTONE FILM)

Cutters Studios Tokyo に就職後、アシスタントクリエイターとして、ディレクター・エディット・オンライン・カラーグレーディングのアシスタントを経て、株式会社 ARTONE FILM に入社後、石山将弘氏・亀井俊貴 (株式会社 ARTONE FILM) に師事。アディショナルカラリストとしては、Netflix 作品の「サンクチュアリ-聖域-」、「クレイジークルーズ」に携わる。今までの経験からカラーグレーディングに限らず全ての工程を理解した上で、更に多文化のバックグラウンドを活かし、様々なアプローチからカラーグレーディングをする。

三浦徹 (SPICE)

三浦徹氏は、DIT・カラリストとして活躍している。主に CM、映画、MV に従事しており、撮影機材や撮影技術などの様々な面で豊富な経験を持っている。三浦氏は、日本で初めて Phantom HD GOLD (1000fps) を導入した技術者のひとりで、現在でも映像表現の新しい可能性を探究し続けている。代表作に、映画『渚のバイセクシー』『ジョウネツノバラ』『雨の詩』、CM では、キリン一番搾り 糖質ゼロ 豊川悦司 中条あやみ シヤワーの後篇、UQUEEN『パーティー』篇、ジャンボ空くじ『ジャンボ兄ちゃん教えて』篇、ユニクロ『20FW Fluffy Yam Fleece』など、多くの作品に携わっている。三浦氏の高度な技術と豊富な経験は、日本の映像業界においても高い評価を得ている。

林

株式会社 RICOH でカメラ設計に従事した後、2014 年 7 月に写真・映像のプロダクション bird and insect を立ち上げ。2023 年 6 月よりフリーの写真・映像作家として活動。写真・映像に関する言語化されていないことの言語化と、映像のハードルを下げるアイデアの発信を主な活動領域としている。

小町直

大学でアニメーションを学びつつ、カメラや PC などデジタル機材への造詣を深める。アニメーション業界で PC やデジタル機材のヘルプデスク業務を行う中、2019 年に DaVinci Resolve 認定トレーナーとなってからは業界に広めるべくレクチャーやトレーニングを随時開催。YouTube@oma_1991) でも情報発信中。

Toshiki Kamei (ARTONE FILM)

外資系ポストプロダクションの Cutters Studios Tokyo 所属。2013 年にインターンからスタート。その後エディター・カラリストのアシスタントを経てオーストラリア出身のベン・コンキーに師事し、2017 年よりカラリストに昇格。フィルムトーンを得意とし、CM や PV などビューティーを得意とするカメラマンから多く指名のある日本でも トップレベルのカラリスト。国際色豊かな同社の環境で英語力も鍛えられ、シカゴ本社との連携したプロジェクトなど海外案件も数多く担当。

Yukino Kobayashi (ARTONE FILM)

ビジュアルアーツ専門学校 大阪放送映画学科卒業後、株式会社デジタルガーデンに入社。オンライン、カラリストアシスタントを経て、カラリストの石山将弘氏 (株式会社 ARTONE FILM) に師事。カラリストとして長編作品として映画「あつい胸さわぎ」に携わる。アディショナルカラリストとしては Netflix 作品の「御手洗家、炎上する」「ちひろさん」に携わる。カラーフィルム現象の知識を駆使し、女性目線での柔かい光を表現しつつデジタルの良さを引き出すカラーグレーディングを得意とする

藤浪 崇史 (Dolby Japan)

2022 年 9 月Dolby Japan入社。国内の Dolby Atmos コンテツツ制作における技術サポートを担当。主な活動の一つとしてポストプロダクション、音楽スタジオ、エンジニア、アーティストへ向けて、スタジオ制作から配信までのワークフローを解説、サポートする。

萩谷 太郎 (Dolby Japan)2018 年 3 月に映像機器の認証エンジニアとして Dolby に二度目の入社。その後、国内で Dolby Vision, Dolby Atmos でのコンテツツ制作を促進するための技術サポートを行っている。Dolby Vision, Dolby Atmos での高臨場感ライブ配信するため制作、エンコード、配信技術のサポート。また、スタジオ制作での Dolby Vision を普及するためのサポートと幅広く行っている。@Haggier

鈴木佑介 (Y’s kitchen)

1979 年神奈川県逗子市出身。日本大学芸術学部映画学科 演技コース卒業。TV-CM 専門スタジオ勤務の後、独立。「人を描く」事を専門に Web 媒体を中心に 広告・プロモーション映像などをワンストップで手がける。2024 年 4 月にフリーランス 2 0 周年を迎える。執筆業の他、講師・映像コンサルタントとしても活動。最近ではスタジオポートレイトを中心にスチル撮影業も始める。Blackmagic design 認定 DaVinci Resolve i8 トレーナー (RODE / NANLITE 日本公式アンバサダー) 玄光社より「カラーグレーディング・トレーニング Basic / Advanced」絶賛発売中。

松尾直樹

専門学校卒業後、大阪のポストプロダクションにて CM 編集に関わる。2015 年独立、WEB 広告やデジタルサイネージの編集・撮影を行う傍ら、2019 年より DaVinci Resolve 認定トレーナーを取得、個人レクチャーから専門学校での講師などトレーニング事業も開始。2023 年からは撮影に立ち会い、現場グレーディング等にもチャレンジ中です。

Yoshiyuki Nishida (ARTONE FILM)

2018 年より McRay でグレーディングアシスタントとしてキャリアをスタートする。同社にて社内外様々なカラリストのアシスタントにつくことで基礎を学び、2020 年 C STUDIO に入社しカラリストのベン・コンキーのアシスタントとして様々なプロジェクトに参加し、更に技術を研鑽していく。2021 年より CM、MV を中心にカラリストとして活動を開始する。。シンプルでありつつも上質なフィルムトーンを得意とし、クライアントの求めるもの以上のトーンを作れるよう、積極的な姿勢を大事にしている。

星子 駿光 (DI Factory)

1990 年東京都出身。東京俳優・映画 & 放送専門学校 CG 専攻卒。フリーランスの VFX デザイナーを経て、2011 年株式会社東京現像所へ入社。テレシネカラリスト、DIT を経験後 2013 年に DI カラリストデビュー。以降、映画・ドラマを中心にカラリスト /DIT として活動。フィルムラボでの経験によるフィルムとデジタルの幅広い知識を活かしたグレーディングが持ち味。新作のみならず、旧作のリマスターも手掛ける。2022 年より DI Factory に所属。主な担当作品に「ストロボエッジ」「巫人」「羊と鋼の森」「男はつらいよ 50 お帰し、寅さん」「用心棒・椿三十郎 4K リマスター」「リベン vs 複製人間 4K・HDR リマスター」

田中 裕治 (UZLAND FILM WORKS)

2018 年より VP を中心に企画、撮影、編集、グレーディングまでワンストップで行うスタイルで活動をはじめ。近年では WEB ドラマ、WEB-CF、映画にも活動の場を広げ、その時々で撮影部、照明部、ポストプロ、制作部など個別のスキルを活かした形でも活動中。直近では岩井俊二監督作品「檸檬色の夢」「キリエのうた」において VFX、制作部業務を担当。また認定トレーナーとしては VANTAN DESIGN INSTITUTE にてカラーグレーディングの講師を担当中、その他制作会社や個人クリエイター向けにカラーグレーディングを中心にプライベートレッスンなども行う。

清本俊彦 (DENDEN Inc.)

Blackmagic Cloud を中心とした動画コンテンツ制作業務の改革 制作会社、コンサルティング会社、広告代理店を経て、2021 年にデジタルコンテンツ領域専門のコンサルティング会社「DENDEN 株式会社」を設立。2022 年よりコンテンツ制作業務に特化した統合ワークフロー「DENDEN Advanced Cloud Studio」を構築し、制作業務の DX と生産性向上、働き方改革、コスト削減を実現。今回は大型オンラインイベント制作における「Blackmagic Cloud を中心とした動画コンテンツ制作業務の改革」についてご紹介させていただきました。

山本 久之 (マウントキュー)

二十歳より映像業界でお世話になり、すでに 39 年が経過しました。ポストプロダクションを中心に映像制作のワークフローで、テクニカルディレクターとして活動しています。Apple の Macintosh を一意専心で使用しています。DaVinci との出会いは 1990 年台半ば、Resolve は 2010 年のバージョン 7 からユーザーになりました。現在も学習継続中

Karol Kaczorowski (ARTONE FILM)

Academy of Fine Arts を卒業 (MFA)。2018 年多摩美術大学で博士課程を修了。Cutters Studios Tokyo にアシスタント カラーリストとして入社し、亀井俊樹や他トップクラスのカラリストと共に仕事をした。写真に強いバックグラウンドを持ち、自然でありながらもフィルムのような色調を追求することを得意とする。グレーディングの際にシーンの光を操ることを好む。短編でも長編でもそつなくこなし、技術的に難しい素材も怖がらない。またアリプロダクションでのルック作業、撮影の監督、セットでのグレーディングの経験がある

田巻源太 (株式会社インターセプター)

1982 年、新潟県生まれ。高校時代より映画製作に関わり始め、ラジオ・テレビディレクターを経て映画編集・カラーグレーディング・合成に携わる。主な作品に、『共喰い』(13 / 青山真治監督)『南瓜とマコネーズ』(17 / 富永昌敬監督)『生きてるだけで、愛。』(18 / 関根光才監督)、『空に住む』(20 / 青山真治監督)、『やがて海へと届く』(22 / 中川龍太郎監督)、『Winry』(23 / 松本優作)

伊納達也

1988 年愛知県生まれ。ドキュメンタリー映像作家。東映シーエム株式会社にて制作進行として勤務後、ディレクターとして活動。2010 年代前半には当時増え始めていたビデオグラファーを集めたコミュニティの立ち上げや情報発信を行うようになり、2019 年からは栃木県鹿沼市にスタジオを移しドキュメンタリー映像作品の制作を続けている。

大嶺 建 (kyokuti creator school)

企業用 PV や YouTube コンテツツをメインとした映像制作者。2019 年、DaVinci Resolve 認定トレーナーになったことがきっかけで講師業を開始。グラフィックデザイナーとしてキャリアをスタートしており、大手出版社より出版されたミリオンセラー書籍の広報活動にも参加。2011 年に独立。紙媒体や web の他にモーショングラフィックス・映像撮影自体も取り扱うように。現在は DaVinci Resolve とグラフィックソフトで近年シェアを急速に伸ばしている Affinity Suite のみを使って業務を遂行中

石川洋一 (株式会社 IMAGICA)

2005 年からカラリストとなり多くのテレビシネ作業を経て、CM、MV などを中心に幅広いジャンルのカラーグレーディングを担当しています。
【主な担当作品】・サントリー 金麦 (CM)・アフラック (CM)・キリン ホームタップ (CM)

横田早紀 (株式会社 IMAGICA)

2020 年からカラリストとして CM、映画、ドラマなど様々なジャンルの作品を担当し、フィルムを活かしたルックや ACES 等のようなワークフローにも対応、提案を行なっています。ストーリーに寄り添ったグレーディングが好きです。